

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	結核定期健康診断・予防啓発事業			シート番号	011-233
担当部署名	健康福祉	局	健康部 保健所	部	感染症対策 課 評価責任者(課長名)
					中井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	昭和 26 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	結核は、かつて国民病と言われるほど患者数も多く、また不治の病と恐れられていた。治療薬の普及、栄養・衛生状態の改善などにより患者数は激減したが、未だに国内で毎年約16,000人の結核患者が新たに発生し、毎年約2,200人の人が結核で亡くなっている。住民に対する定期健康診断は、昭和26年から施行された法律に基づき市町村が実施しなければならない事業となっている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	全市民				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	主に結核の罹患率が高い65歳以上の市民を対象に、レントゲン検査を実施することにより、結核の早期発見、早期治療につなげ、結核のまん延を予防する。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	【結核予防週間等における予防啓発事業】 ①街頭啓発キャンペーンの実施(令和元年度:9月24日~9月30日) ②啓発リーフレットの作成及び配布 ③市役所・保健センターで結核についての展示  【肺がん・結核検診】 全校区において、胸部エックス線検診車の巡回検診を実施(令和元年度:110回)  【定期健康診断実施報告書の提出勧奨】 市内医療機関・福祉施設・学校等は年1回定期的健康診断を実施する必要があり、その報告率を勧奨により向上を目指す。  【結核対策費補助金の交付】 ・学校や老人ホーム等の集団で生活する施設に対する結核対策費補助金の交付を行い、患者を早期発見する。  <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
10	直接実施以外の主な支出先	委託: 一般財団法人 大阪府結核予防会ほか 補助金: 羽衣国際大学ほか					

Ⅲ. 投入量

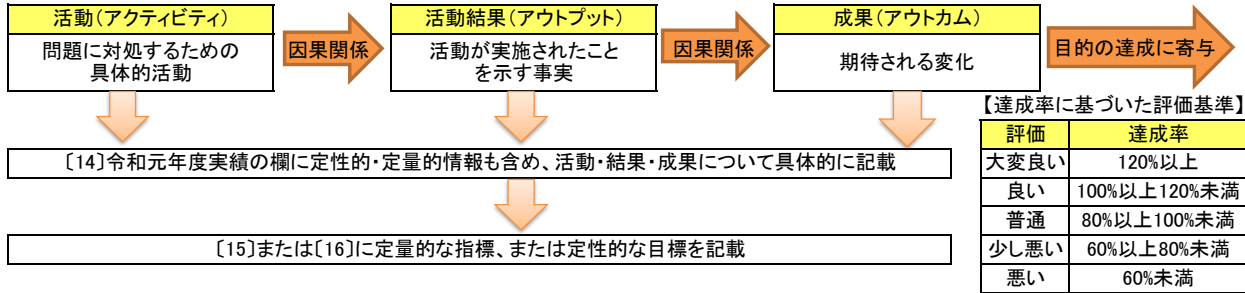
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	22,916	20,124	22,482	18,933	22,624	19,021	21,833	
主な事業費内訳	委託料	千円	16,823	14,709	16,422	13,722	16,229	12,998	14,962
	補助金	千円	2,060	1,818	1,935	1,807	2,468	2,405	2,724
	その他(需用費等)	千円	4,033	3,597	4,125	3,404	3,927	3,618	4,147
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他( )	千円							
一般財源	千円	22,916	20,124	22,482	18,933	22,624	19,021	21,833	
12 人件費 (b)	千円	6,068	6,068	6,560	6,560	6,990	6,180	6,490	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	28,984	26,192	29,042	25,493	29,614	25,201	28,323	

# 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	結核定期健康診断・予防啓発事業	シート番号	011-233
-------	-----------------	-------	---------

## Ⅳ. 評価(測定・分析)

### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

### 事業の活動実績や成果

		令和元年度実績																															
活動実績と成果	14	<p>【結核予防週間等における予防啓発事業】 結核予防週間での街頭キャンペーンや庁舎内での展示をはじめとして、高齢者施設(サービス付き高齢者住宅・特別養護老人ホーム・訪問看護ステーション・有料老人ホーム・介護老人保健施設・障がい者支援施設等)やシルバー人材センター会員などへも結核の普及啓発と肺がん・結核検診の案内を行った。また平成30年4月27日厚労省通知「高齢者における結核発病患者の早期発見対策について」に倣い、結核罹患率の高い高齢者を対象として啓発チラシを後期高齢者医療の健診案内に同封した。(発送は令和2年4月上旬)</p> <p>【肺がん・結核検診】 市内小学校や地域会館等で肺がん・結核検診を実施。令和元年度は年間89会場(延べ110回)で実施した。また受診者数向上への取り組みとして土日の開催も行った。また保健センターでのイベントとの同時実施や商業施設でも肺がん・結核検診を実施した。受診者数については目標値及び前年実績値を下回った。</p> <p>【定期健康診断実施報告書の提出勧奨】 市内医療機関・福祉施設・学校等に対し、文書で定期健康診断実施報告書の提出勧奨を行ったほか、各種説明会や研修会等においても勧奨を行った。また申請方法に電子申請を取り入れ、記入例を刷新しホームページに掲載するなど提出率の向上に努めた。</p> <p>【結核対策費補助金の交付】 今年度より、ハイリスク層の外国人に対する検診の実施を促すため、堺市内日本語学校4校を補助金交付対象に追加した。</p>																															
	15	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名【成果指標】</th> <th>単位</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">肺がん・結核検診受診者数</td> <td>人</td> <td>7,500</td> <td>6,500</td> <td>6,000</td> <td>5,500</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>6,202</td> <td>6,154</td> <td>5,637</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>83%</td> <td>88%</td> <td>94%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>普通</td> <td>普通</td> <td>普通</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>算出方法・設定根拠など 前年度の実績を参考に目標を算出している。医療機関での個別検診もあり、集団検診は年々減少傾向にある。</p>	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	肺がん・結核検診受診者数	人	7,500	6,500	6,000	5,500	実績値	6,202	6,154	5,637		達成率	83%	88%	94%		評価	普通	普通	普通					
	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																											
	肺がん・結核検診受診者数	人	7,500	6,500	6,000	5,500																											
		実績値	6,202	6,154	5,637																												
		達成率	83%	88%	94%																												
		評価	普通	普通	普通																												
	16	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名【成果指標】</th> <th>単位</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">定期健康診断実施報告書の提出数</td> <td>件</td> <td>1,300</td> <td>1,300</td> <td>1,300</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1,216</td> <td>1,239</td> <td>817</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>94%</td> <td>95%</td> <td>63%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>普通</td> <td>普通</td> <td>少し悪い</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>算出方法・設定根拠など 提出数の実績</p>	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	定期健康診断実施報告書の提出数	件	1,300	1,300	1,300	1,300	実績値	1,216	1,239	817		達成率	94%	95%	63%		評価	普通	普通	少し悪い					
	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																											
	定期健康診断実施報告書の提出数	件	1,300	1,300	1,300	1,300																											
実績値		1,216	1,239	817																													
達成率		94%	95%	63%																													
評価		普通	普通	少し悪い																													

### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	肺がん・結核検診受診者数	人	6,202	6,154	5,637	
	②	上記①にかかる年間経費	千円	15,618	14,631	13,907	
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	2,518	2,378	2,467	
	備考(算出についての説明等)						
18	区分						
	①						
	②	上記①にかかる年間経費	千円				
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位				
備考(算出についての説明等)							

### 業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
19	<p>高齢者を中心に結核の啓発、肺がん・結核検診の案内してきたが、受診者数は目標を達成できなかった。検診の実施会場が主に小学校や地域会館等と限られており、日程も決まっているため利便性が課題が残ると考えられる。また平成28年10月より市内医療機関で肺がん検診の無料個別受診が可能になり、受診者が分散したことが要因として考えられる。</p> <p>定期健康診断実施報告書については、毎年2月と6月に提出の勧奨通知を送付しているが、新型コロナウイルスの影響にて業務がひっ迫しており、令和2年2月時の送付ができなかったため、提出率が低くなっている。令和2年6月にも元年度分実施報告書の提出について最終勧奨を文書にて発送する予定である。今後は文書による通知のほかに他部署や関係機関との連携をはかり勧奨の機会を増やすことを検討する。</p>

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	結核定期健康診断・予防啓発事業	シート番号	011-233
-------	-----------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 住民に対する定期健康診断は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下、感染症法）第53条の2に基づき、実施しなければならない。また、市内医療機関・福祉施設・学校等に対し、文書により定期健康診断実施報告書の提出勧奨を行うことにより受診率が向上している。これらのことから当該事業を廃止すると、胸部エックス線による検診の受診機会が損なわれ、結核患者の発見、治療が遅れるため結核のまん延を予防できなくなる。		
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 令和2年度中  <input type="checkbox"/> 令和3年度  <input type="checkbox"/> 令和4年度以降         </td> <td> <b>休止の場合の再開時期</b> </td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	<b>休止の場合の再開時期</b>
	<input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	<b>休止の場合の再開時期</b>				
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 緊急事態宣言が発令されたことにより、令和2年4月～6月の肺がん・結核検診の実施を中止していたが、再開後は、一定数の受診者が見込まれる。また、受診者のほとんどが65歳以上の高齢者であるため、検診会場数を削減すると、最寄りの会場での受診機会を損失することとなる。		
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 市内小学校や地域会館等で実施している肺がん・結核検診について、現在予約を必要としていないが、定員を設けることや、予約制により受診時間を管理することにより、3密を避け感染を予防する必要がある。		
24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	<b>効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□)</b> ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 ( ) 関連事業名 ( ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>理由・説明</b> 結核検診について、保健センターでのイベントとの同時実施や商業施設での開催により啓発の機会を増やす。定期健康診断実施報告書の提出について、文書により勧奨通知を发出しているが、ICTの活用により電子での啓発・受付を検討する。			
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降			
		<b>所見</b> 肺がん・結核検診について、小学校等で実施する集団検診は予約制を取らず実施していたため、3密を避ける対策を講じる必要がある。また、市民の利便性を考慮すると、医療機関で実施する個別検診についても啓発を行い、検診の機会を増やす必要がある。 市民の感染症に対する注目がコロナに集中している中で、結核についても市民の関心を向けるよう工夫していく。 毎年2回送付している定期健康診断実施報告書の勧奨通知について、新型コロナウイルス感染症対応により1回しか送付できなかったこともあり、提出率が前年に比べて低くなっている。今後の提出率の向上のため勧奨の方法を工夫する必要がある。				